

中国 烟台は今・・・

当社の中国関連会社である烟台石川密封科技股份有限公司(以下、烟台石川社とする)は、中国山東省の北東部、渤海湾に面する風光明媚な港湾都市である烟台市にあります。

新型コロナウイルス感染拡大(以下、新型コロナ禍とする)前に訪問した 2019 年において、既に中国のデジタル化の波は凄まじく、日常の全ての物ごと、例えば、鉄道やタクシー、街中の飲食店は言うに及ばず、観光地の入場料や乗り物などもスマホ決済となっており、現金は当然として、クレジットカードも使えなくなりつつありました。

我々のような海外旅行者以外の中国の方が、地下鉄の券売機の前で立ち止まっていると不審者扱いされる状況でした。

烟台石川社においても、生産ラインの自動化とデジタル化を急速に推進している最中でした。

その直後の世界的な新型コロナ禍により、中国への訪問は滞ったままですが、その間の中国の状況については、感染地域の行動制限、日常生活を維持する為のPCR検査やスマホによる陰性証明など我々日本人にとっては驚きの連続でしたが、良く言えばデジタル化のなせる技であったのかもしれません。

この新型コロナ禍の中、烟台石川社は、2021 年 7 月 6 日に深圳創業版市場(新興企業向け市場)に上場し、企業価値を高めています。

現在、シーリング技術の優位性を維持しながら、国内市場シェアを拡大し、下の写真に示す様な新規製品の獲得や更なる自動化に向けた活動を促進すると共に、新しいエネルギー市場に対しても積極的に取り組み、将来的には、ガスケット製品、シーリング材料、新エネルギー製品へと多様化し、会社の総合的な競争力と主導的地位を強化していく方針とのことです。



中国紅旗車用専用生産ライン



ヘッドガスケット自動組立生産ライン

新型コロナ禍が一段落した今年は、再び中国を訪問し、この4年間の中国の世情と烟台石川社の変化を体験したいと期待しています。

当社と烟台石川社の経営層並びに実務層とは、良好な関係にあり、お互い切磋琢磨し、両社の発展と共にカーボンニュートラルの大波を乗り越えて行きます。